

パブリックコメントの実施結果について（概要）

募集期間：3/1（日）～3/15（日）

意見提出者：20名

意見総件数：51件

まちづくりの考え方に関するもの（個別施策以外）・・・9件

- ・対象範囲をもっと広域にすべき
- ・暮らしやすさを重視してほしい
- ・具体的な商業の目指す方向性は
- ・大規模計画よりインフラ整備を
- ・歴史的建造物を面で活用 など

策定までの手順やその後の推進に関するもの・・・4件

- ・計画作成段階から、市民意見を聞いて進めて欲しい
- ・職員がもっと先導して欲しい
- ・構想の後に基本計画を作るべき
- ・今後の事業規模を示すべき

語句や図表の表記に関するもの・・・10件

- ・商業・業務ゾーンの区域取りを修正すべき
- ・回遊性を面として示すべき
- ・コンセプトをはじめとして心に届く言葉を考えて欲しい など

個別施策に関するもの・・・28件

- ・エレベーター・エスカレーターの整備
- ・地下街の形成
- ・美術館の整備
- ・魅力的な新拠点ゾーンの形成
- ・道路などの基盤整備 など

松戸駅周辺まちづくり基本構想案 パブリックコメントの結果を公表します。

「松戸駅周辺まちづくり基本構想案」の作成にあたり、市民の皆様からご意見を募集したところ 20 名の方からご意見をいただきました。ご意見の提出ありがとうございました。

お寄せいただいたご意見を整理し、市としての考え方をまとめたのでお知らせいたします。

意見公募の概要

- 1 意見募集期間 平成 27 年 3 月 1 日（日）～平成 27 年 3 月 15 日（日）
- 2 意見提出者 20 名
- 3 意見総件数 51 件
- 4 意見取り下げ 0 件
- 5 回答数 51 件
- 6 意見内容および回答 下記の通り

No.	項・項目	意見の趣旨	市の考え方	修正の有無
1	P2 基本構想策定の概要	対象範囲をもっと広域に設定すべき。松戸は東北の玄関口であり、道路・鉄道が被災地と繋がっており、東北の復興を含めたマクロな視点で構想することが求められる。また、千葉県自体が江戸川・利根川で分断されており、橋を多く設けるなどの島嶼的な危機感と発想が求められる。さらには、放射能への配慮だけでなく、千葉県の農産物、野田・流山の醤油・みりんなど食文化活への配慮も必要である。	松戸駅周辺まちづくり基本構想は、近年活気が失われつつある本市の中心市街地の活性化などを目的として定めるものでございます。広域的な連携は必要であると考えており、基本構想にもいくつか取り組みを載せておりますが、対象範囲については中心市街地としての範囲を設定しておりますので、ご理解をお願いします。	無
2		基本構想と個別事業の間に基本計画や実施計画がない。個別事業の内容・規模の例示、手段・政策の体系的な明示をすべき。そうしないと、個別事業間の齟齬がおき、相乗効果も期待できない。 そもそも、基本構想は、基本計画の前段として目指す将来像と目標を明らかにすると同時に、事業実施体制・計画等をまとめた実現性のある戦略的方針であるべきだ	基本構想はまちづくりの指針であり、多様な主体が共通の将来ビジョンに則ったまちづくりを推進できる環境を形成するために策定するものでございます。 個別事業の詳細や個別事業間の連携については、まちづくり委員会で審議を行いながら	無

		が、本構想には実現性の面が省略されすぎている。	慎重に進めてまいりますので、ご理解をお願いいたします。	
3	P3、4 地域特性と求められるまちづくり	地域特性を活かした結果、都市計画によって出来上がった松戸の個性とは。(他のまちにはないもの)	松戸駅周辺は、東京から 20 km 圏内である松戸市の中心市街地であり、交通アクセスが良く、商業施設や公共施設が一定の集積をしているのが特徴であると考えております。 また、江戸川や戸定邸などの水・歴史資源が駅至近にあることも特徴であると考えております。 これらの特徴を活かし、まちづくりを推進してまいりたいと考えております。	無
4		新東京クリニックは大規模病院か。むしろ、総合病院のほうが良いのでは。	厳密な定義はございませんので、市民の方にわかりやすい「大規模な病院」という表現を採用させていただいております。	無
5		市内の小金には中世から町があり、近世・現代においては松戸が東葛地域の中心的役割を引き継いで担ってきた。ここ 30～40 年のあいだに、近隣都市の発展により松戸駅周辺が相対的に目立たなくなっており、行政・商工会・市民が一体となって再生するべき。首都圏としての広域的な視野に基づいて、小手先でない都市整備を進め、松戸駅周辺に人、物、金、情報が集まるような各種交通網を誘導する戦略を立てつつ都市中心核を整備する事が重要。 今回の再整備計画は、50 年後、21 世紀後半の松戸の発展方向にも影響が及ぶと思うので、中途半端な投資にならないようにして欲しい。	交通網や中心市街地の整備は重要であると認識しており、交通の結節機能強化、商業の集積、土地の高度利用の促進などを基本構想に記載しております。 また、本構想は今後、社会情勢の変化にあわせ、適宜見直しを行ってまいりますので、将来の発展方向については、その時々々の状況を見極めながら、望ましい方向に向かうよう構想を見直したいと考えております。	無
6	P6 コンセプトと将来	「ルネサンス（復興）」「にぎわいあふれる広場」など、昭和 30 年代の商業的賑わいを復活させようとしているように感じ	人口減少・少子高齢化に対応したまちづくりとして、集約型の都市構造を構築する必要が	無

	像	<p>るが、近隣市に大きな遅れをとっており、挽回は不可能であると考えため、大反対である。市内に中心商業地が必要なのは、都市が点在する地方の話であり、松戸には近隣に魅力ある商業圏がすでにある。</p> <p>むしろ首都圏に近いベッドタウンの優位性を発揮すべき。近隣市は交通や子育てなどの「暮らしやすさ」がキーワードである。「いらっしゃいませ。やさしい街（もしくは暮らしやすい街）松戸」くらいでいいのでは。</p>	<p>あると考えております。</p> <p>暮らしやすさも重要な要素であると認識しており、将来像において「様々な世代が住み続けたい・移り住みたいと思うまち」として整理しておりますが、本市の中心市街地である松戸駅周辺にはにぎわい、交通環境、自然歴史なども重要であると考えておりますので、ご理解をお願いいたします。</p>	
7		<p>基本構想はテキストを基にしたイメージ・スケッチが盛り込まれておらず、わかりづらい。今後の展開について、もう一度専門職（建築家、マーケッター、プロデューサー、コピーライター、ディレクター、デザイナー、バイヤーなど）の意見を聞き、その結果を広報で周知しては。</p> <p>具体的には、一つ目として、コピーライター等の登用を通じて、心に届く言葉を考え直して欲しい。言葉に魅力がないと見向きもされない。まちづくり委員会で、コンセプトが討議されてまとまらないのは、「ルネサンス」「世界一」「にぎわいとやすらぎ」という言葉が人々の心に届かないということなので、再考して欲しい。（特に世界一は絶対に表に出さないで欲しい。）その際は、コピーライターだけでなく、構想を練る専門職（プロデューサー・ディレクターなど）の登用も必要である。</p> <p>二つ目として、外見が先か中身が先か議論して欲しい。どんな衣食住（暮らし）のサービスを提供するかによって人々の関心度が違ってくる。道路沿いに同業者を集積させ、商品を比較しやすい便利さを提供するなどのアイデアを築いてから外観構想を考えるなどの方法を考えられないか。また、大型店・個人店の役割分担を考え、それぞ</p>	<p>基本構想には、他市の類似事例として参考イメージを載せております。今後、個別事業の計画を作成する中で、具体的なイメージを作成してまいりたいと考えております。</p> <p>コンセプトについては、利害関係を有する多様な主体の想いを反映させたいと考えており、議会・市民（説明会・意見公募）・地元組織から様々な意見をいただき、まちづくり委員会で審議して作成しましたので、ご理解をお願いいたします。</p> <p>外見と中身についてですが、外見を統一する手法として地区計画などの規制誘導がござります。地区計画は地元の合意が前提となりますが、地区の特色に応じたルールを作成できますので、今後検討してまいりたいと考えております。（地元が中身を考えた上で、外観のルールを決めるといった活用も可能です。）</p> <p>今後も、個別事業の計画を作</p>	無

	<p>れの特徴を打ち出してから、店舗デザインやネーミングを考えられないか。その方が、統一感が出て回遊性も高まると考える。(ただし、勧誘の規制などのルールを明確にする必要がある。) この優先順位を決めて欲しい。</p> <p>以上を踏まえ、イメージ・スケッチを提示した上で(日曜か祝日に)住民参加の意見交換会を開いて欲しい。まちづくり委員会の傍聴者が8名しかいないので事務局はもっとみんなで考えることを念頭において欲しい。</p>	<p>成する中で必要に応じて住民の皆様に対して周知し、意見を伺う機会を設けてまいりたいと考えております。</p>	
8	<p>商業はともかく、行政サービスが松戸駅周辺にいかないと受けられないと言うのでは困る。ICT活用や支所・分館の充実によって場所・時間を選ばないサービス提供を目指すべき。</p>	<p>市全体の公共施設を集約するのではなく、駅周辺に点在し、老朽化・耐震性などで課題のある公共施設を適切に再編することで利便性の高い市民サービスを実現したいと考えております。</p>	無
9	<p>「公共施設が、適正に再編されている」には、現在の駅周辺にある公共施設が他地区に移転、あるいは閉鎖することも想定しているのか。また、その場合に何故、駅周辺の活気が現在以上にあふれることになるのか。</p>	<p>現時点で想定しているのは、駅周辺の地域内での再編でございます。今後、公共施設再編整備基本計画を検討するなかで調整を図ってまいりたいと考えております。</p> <p>また、バリアフリー化などによる利便性の向上はもとより、魅力ある複合的施設とすることで、にぎわいに寄与するものと考えております。</p>	無
10	<p>まちの将来像として「多様なニーズが満たされる活気あふれるまち」とあるが、内容が将来像になっているか。「今必要なもの」ではないのか。また、その場合、市全体から人を呼ぶ手立てを考える必要があるのでは。</p> <p>基本構想は、コンサルが提示したものを審議し、市民から意見募集し、少し修正を</p>	<p>まちの将来像は、様々なまちづくりを行った結果実現する将来的なまちのイメージを記述しております。また、松戸駅周辺は松戸市全体の中心市街地でございますので、市全体から人を呼ぶことも想定して記述しております。</p>	無

	<p>加えて決定する。あとはこの構想に基づいて地域が考えることとなり、いつになったらまちづくりができるのか。もっと計画を作る段階で、市民や事業者などを委員に入れ、意見を聞く必要があるのではないか。</p>	<p>基本構想は、素案作成段階から地元組織を中心として意見を聞くとともに、市民（説明会・意見公募）、議会、まちづくり委員会の意見を聞きながら案を作成してまいりました。</p>	
11	<p>松戸駅周辺は暗い印象しかない。人を呼ぶための歩行者空間が不足しているが、基本構想の道路整備は実現性が薄く、デッキ改良だけでは鉄道による地域分断を解消できないと思う。（地上整備には限界がある。）なので、「人の流れが多く歩行者にやさしいまち」として、地下街を作るべき。地下街なら、車がないので高齢者に優しく、雨の日も利便性が高く、新たな商店に新たな客層を呼び込むことができる。</p>	<p>地下街は莫大な建設費用がかかるだけでなく、ホームレス対策や防犯・防災対策などの維持管理費用も多く要します。また、橋上にある駅と地下との間のアクセスも大きな課題となります。一般的に歩行者の動線は、最短距離を通ることが想定されるため、駅から目的地へ行く過程、又は駅周辺から駅へ行く過程で地下を経由させることは一筋縄ではいかないと考えております。（実際、駅の橋上化に併せて地下道を廃止する例も多くございます。）そのため、橋上駅である松戸駅では費用に見合う効果が薄く、課題が多いものと考えております。</p> <p>事例としても、松戸駅のような地下鉄のない橋上駅で地下街のある場所はあまりございません。数少ない例としては、広島駅や高岡駅などがございますが、どちらの駅も新幹線の停車駅であり、地下街が形成された頃は橋上駅ではなく、後から橋上化されたものでございます。</p>	無
12	<p>昨今の不景気を考えると、大規模な計画には反対である。（外環延伸など不確定要素もある。）それよりは、既存道路の補修や電線類地中化などのインフラ整備に投資</p>	<p>松戸駅周辺は、都市機能の更新時期を迎えており、また、社会情勢の変化等の影響で活力が薄れつつあります。こうした</p>	無

		すべき。	課題を克服し、新たな魅力を創生することが必要であると考えております。中心市街地を活性化することは駅周辺だけでなく、本市全域にとっても必要なことであると考えておりますので、ご理解をお願いします。なお、個別事業の展開に当たっては国・県の支援制度や民間活力の導入などにより財政負担の軽減を図ってまいりたいと考えております。	
13		<p>松戸駅周辺のまちづくりだけでなく、市全体のまちづくりを考えてこそ「様々な世代が、住み続けたい・移り住みたいと思うまち」になるのでは。松戸市には玄関となる駅がいくつかあるので、その駅周辺を核としてまちづくりを考える必要がある。事業費も高額になると予想され、他地区のまちづくりが進まない原因になると懸念している。</p>	<p>市全体のまちづくりの考え方としては「都市計画マスタープラン」などで整理されております。また、他地域の核の形成も重要であると認識しており、北小金や六実などの駅周辺の地区について、まちづくりの検討の支援をしております。</p> <p>松戸駅周辺は本市の中心市街地であるため、課題を克服し、新たな魅力を創生することが本市全体にとっても重要なことであると考えております。事業化にあたっては、国・県の支援制度や民間活力の活用などにより財政負担を軽減してまいりたいと考えておりますので、ご理解をお願いいたします。</p>	無
14		<p>商業の売上高ばかり意識されているが、住み続けたいと思うまちと思えるには文化的香りの高いまちにするように願う。</p> <p>松戸市にゆかりのある、市に寄贈された作品・市が購入した作品等が多くあると聞いているので、駅周辺に市立美術館を建造して展示して欲しい。</p>	<p>基本構想はまちづくりの指針で、具体の施設は記載をしておりますが、「文化」について各所で記載しておりますので、個別事業の計画を作成する際にはいただいたご意見を参考にしながら進めてまいりま</p>	無

			す。 (新拠点ゾーンの美術品展示スペースは No.31 の回答参照)	
15		「文化の香る」と書かれているが、歴史や水資源だけが文化ではないと思う。松戸市周辺には美術館がないので、作って欲しい。また、松戸はアニメのまちという印象があるので、アニメ・マンガなどの若者文化も取り入れて欲しい。	若者文化を含め、文化活動が展開しやすい環境を作ること は重要であると認識しており、 基本構想にも記載をしております。 (美術館は No.14、31 の回答を 参照)	無
16	P7 ゾーン等 の区分の 考え方	旧水戸街道の中心線で商業・業務ゾーンと都心居住ゾーンが区分されているが、商店会活動の実態に合っていない。境界線は道路の外側 10m などとするべき。(対象地区商店街の意識高揚にも寄与すると考える。)	ご指摘のとおり修正いたします。	有
17		都心居住ゾーンのエリア設定が町会・自治会の区分と異なっているので、地域住民間の合意形成、不動産評価等に影響がある と考える。エリア区分の再考を望む。	基本構想の範囲は松戸駅周辺の商業系用途地域を基本としており、その中で「都市の利便と自然のうるおいを感じるまち」としてふさわしい部分を設定しておりますので、ご理解をお願いいたします。	無
18		J R に、松戸駅にエスカレーター・エレベーターを設置するように働きかけて欲しい。	J R では駅改良計画を進めており、エスカレーター・エレベーターなどの昇降施設の整備を行うと伺っております。なお、大規模な工事となりますので、完成までには時間を要し、ご不便をおかけいたしますが、ご理解をお願いいたします。	無
19		J R 及び新京成コンコース内にエスカレーター・エレベーターを設けて欲しい。また、コンコースを広くし、駅中店を誘致するなど抜本改造して欲しい。 基本設計ができれば公開して、広く意見を聴取して欲しい。	コンコース拡大と新駅ビルを建設すると J R から伺っております。今後も J R から新しい情報が入りましたら、市民の皆様幅広く周知してまいりたいと考えております。 (エスカレーター・エレベータ	無

			一は、NO.18 の回答を参照)	
20		<p>松戸駅の工事を見送るとのニュースを見たが、駅改良が失敗に終われば駅周辺も失敗するように思われる。早急にJRに提言して欲しい。また、駅ビルの規模も小さいように思えるのでちゃんとしたものを作って欲しい。また、上野東京ラインもほぼ上野止まりなので改善を要する。</p>	<p>駅改良工事は駅周辺にとって重要なものの1つですが、駅周辺では「都市機能の更新」や「賑わいの創出」など早急に取り組まなければならない課題がございますので、駅周辺が良いものになるように基本構想を適切に推進してまいりたいと考えております。</p> <p>駅改良工事を当初どおり行うよう、また、上野東京ラインについては常磐線の利便性が向上するよう、JRに対し要望してまいります。</p>	無
21		<p>駅改良で市民ギャラリーが縮小するようだが、新たな場所で同規模を維持して欲しい。また、芸術に関する施設を相模台に作って欲しい。加えて、イトーヨーカドーがあるので、アクセスの改善を図って欲しい。</p>	<p>同規模の市民ギャラリーの設置は難しいと考えておりますが、市民の皆様を使いやすいものになるように工夫してまいりたいと考えております。</p> <p>(新拠点ゾーンはNo.29、31の回答を参照)</p>	無
22		<p>前述 (No.10) の地下街は費用対効果が低いとのことだが、半蔵門線延伸計画を実現させれば可能では。上野東京ラインができたが常磐線は混雑しているし、風の影響で止まりやすい。半蔵門線延伸を実現させ、これらの課題を解決するとともに地下街を形成すべき。渋谷やスカイツリーへのアクセス向上はイメージアップのためにも必要である。</p>	<p>半蔵門線延伸については、平成16年に、事業主体として期待された帝都高速度交通営団が民営化され、東京メトロになり、「民営化後は副都心線を最後に地下鉄ネットワークの整備を終了として、以後は運営に専念するため、新線の建設は行わない」、との方針を打ち出しています。</p> <p>そのため、第3セクターでの整備を想定して調査・研究を進めていますが、現段階では実現の見通しは立っておりません。</p> <p>実現の見通しが立った場合、</p>	無

			基本構想の見直しも併せて行いますので、ご理解をお願いいたします。 (地下街は No.11 の回答を参照)	
23	対象エリアを広げて、松戸外環 I C から松戸駅までの道も整備すべき。		市内の道路交通として、都市計画整備網が決定されていますが、全体の約半数ははまだ未整備であり、松戸駅周辺から外環方面の路線も一部含まれております。維持管理費が増加するなかで、新設道路の整備を取り巻く環境は厳しくなっておりますが、市全体のまちづくりの方向性を鑑みながら、順次整備を進めていきたいと考えております。 (対象エリアは No.1 の回答を参照)	無
24	松戸駅は東京へのアクセスがあまり良くない。常磐線は風や雪などですぐ止まるし、新京成は松戸より先に行かないし、武蔵野線・北総線は松戸駅から遠いし、東京へのバスはない。なので、新しい電車やバスを走らせて欲しい。東京から帰りづらい場所に人は集まらないと思う。		現在 JR では、常磐線の松戸～金町間において防風柵の設置による輸送障害対策を行っているところです。 また、東京へのアクセスは重要であると認識しており、基本構想にも「羽田・成田空港へのアクセス強化」を記載しております。	無
25	まちづくり構想の着手は遅い印象であり、市役所は猛省すべき。JR 松戸駅開発との連携が重要であると考えますが基本構想に具体的な情報がない。 文化の香るまちづくりの方向性は良いので、新拠点ゾーンに、以前から計画されている市立美術館を市立図書館と併設して、文化の拠点としてほしい。		松戸駅改良との連携は重要であると認識しており、駅改良と連携したデッキ改造、シンボル軸を中心とした回遊性の向上などを基本構想に記載しております。今後も JR から新しい情報が入りましたら、市民の皆様幅広く周知してまいりたいと考えております。 (新拠点ゾーンは NO.31 の回	無

			答を参照)	
26		<p>広域的な視点で、江戸川左岸にスーパー堤防の整備を盛り込む調整はできないか。そこに幹線道路を通し、第二北千葉道路と接続することで、松戸駅から馬橋までの産業道路沿いを政令指定都市レベルの街区に進化させる布石とする。</p> <p>松戸駅周辺は、連携して身近で本格的な都心に脱皮する。</p>	<p>江戸川左岸の整備及び、松戸駅周辺と他地域の連携につきましては、個別事業計画を作成する際に、いただいたご意見を参考にしながら検討してまいります。</p> <p>(道路整備は No.24 の回答を参照)</p>	無
27	P7 松戸駅周辺のソフト展開	<p>商業の活性化は現在の活動とその延長線しか書かれておらず、一過性のものや具体性・効果性に乏しく、基本構想の戦略と言えない。これを基にハード整備に繋げるには、根拠に乏しい。</p>	<p>このページは「松戸市商工業等振興基本方針」を基に記載をしておりますので、具体的な戦略については「松戸市商工業等振興基本方針」をご覧ください。この方針と連携して、効果あるハード整備を推進してまいりますと考えておりますので、ご理解をお願いいたします。</p>	無
28		<p>人を呼び込む施策はあるが、住む人にとっての施策が文化・芸術活動のみである。人口流入が多い周辺市のキーワードは子育て・交通などの「暮らしやすさ」である。住居ゾーンは閑静さを売りにした規制などの方針があってもよいのではないか。</p>	<p>暮らしやすさは重要な要素であると認識しており、都心居住ゾーンにおいて「都市計画制度等による規制・誘導」と記載しております。</p>	無
29	P8 新拠点ゾーン	<p>新拠点ゾーンは駅、国道6号の両方から行きづらい。アクセス改善が書かれているが、台地なので難しいと思う。なので、前述 (No.10) のとおり、地下街を作るべき。そうすれば、イトーヨーカドーや外階段を経由せずエレベーターなどで新拠点にアクセスできるし、地下に市民ギャラリーを作れば、今の市民ギャラリーの規模が維持できる。また、新拠点ゾーンに駐輪場や駐車場を集約し、地下道を歩かせれば駅前を有効活用できる。</p>	<p>新拠点ゾーンへのアクセスは、人や車にとって移動しやすいものになるよう十分留意しながら計画してまいりますので、ご理解をお願いいたします。</p> <p>(地下街は No.11 の回答を参照)</p>	無

30		<p>松戸駅から中央公園のアクセス路について、起伏を活かした趣と明るさのある階段等を整備してほしい。</p>	<p>いただいたご意見を参考にしながら、個別事業の計画を進めてまいります。</p>	無
31		<p>30年経過した市立美術館準備室には多数のコレクションがある。それは学術的価値があるだけでなく、市民が楽しむ権利を有するものである。そこで、文化のまちになるよう、アクセスの良い新拠点にコンパクトで構わないので美術館やギャラリーを設置してほしい。</p>	<p>基本構想はまちづくりの指針であるため、具体の施設は記載しておりませんが、多機能拠点に文化と記載しております。個別事業の計画の中で具体の施設を検討してまいります。</p> <p>(ただし、公園内への建築物の設置は、都市公園法により原則として敷地面積の2%を超えてはならないとされているため課題があるものと考えております。)</p> <p>今後、いただいたご意見を参考にしながら、個別事業の計画を進めてまいります。</p>	無
32		<p>まちづくりにおいては、長い年月を経たとき、時間が経てば経つほど貴重なものになることを目指して欲しい。具体的には、松戸市にゆかりのある芸術作品を保存・展示する美術館を作って欲しい。板倉鼎・須美子夫妻、奥山儀八郎などの作品がたくさん松戸市に寄贈されているが、数年に一度しか見る機会がない。</p> <p>遠くから来てもらえるように駅近に、子供がいつでも入れる公園の中に美術館を設置してほしい。</p>	<p>今後、いただいたご意見を参考にしながら、個別事業の計画を進めてまいります。</p>	
33		<p>駅近に図書館が出来るそうだが、行ってみたいと思う施設にして欲しい。例えば、「武蔵野プレイス」では、図書館・ワークスタジオ・カフェ・イベントスペースが併設されている。</p> <p>また、駅前に児童館があると、親子連れが増えて良いと思う。(例えば、西新井にある「ギャラクシティ」)</p>	<p>現在、教育委員会において「図書館整備計画」の策定を進めておりますが、地域コミュニティの基盤となることを目指し、機能では「暮らし」や「仕事」に役立つ、従来の図書の貸し出し中心の機能だけでなく、様々な役割が担えるよう機能の充実を検討しております。</p> <p>基本構想では、多機能拠点に文化・子育てなどと記載しておりますので、個別事業の計画を作成する際にはいただいたご意見を参考にしながら進めてまいります。</p>	無
34	P9 商業・業務	<p>ゾーンの方向性が「にぎわいを高める」だが、どのような商業・業務ゾーンにした</p>	<p>ゾーン全体として回遊性・滞留性のあり、買物や食事が楽し</p>	無

	ゾーン	いのか見えない。例えば、柏と同等以上の大型店の林立する商業地、歓楽施設が林立するミニ歌舞伎町、企業誘致とその従業員向け商業地、などの方向性があると思うが、いずれにしてももう少し具体的なゾーン設定が必要である。	める本市の中心市街地としてふさわしいまちを目指しております。	
35		にぎわい回遊軸として点線で示されている部分（特に西口）は既に歩行者空間の充実がなされている。今後注目すべきは旧水戸街道とヨーカドー前の道路と考える。回遊性・滞留性についてはゾーン内で面として促す意図を示した方が、誤解もないし、不動産評価等への影響も避けられる。	ご指摘のとおり、回遊性・滞留性について面として捉えられるように図の表現を修正いたします。	有
36		喫煙所に対する考え方は。現状では人通りの多い場所に喫煙所があり、イメージダウンになるのでは。	喫煙所は仕切りがなく、駅利用者が近くを通らなければならぬので、課題があると考えております。 市では、関係部署において喫煙者のマナー向上を図る取り組みを行っておりますが、効果が上がらない場合は、設置の見直しも視野に入れて対策を検討すると伺っております。	無
37		娯楽施設（ゲームセンター・パチンコ等）・風俗店の営業場所に対する考え方は。夜の客の呼び込みなどでイメージダウンになるのでは。	松戸駅周辺の用途地域は、商業地域に指定されており、娯楽施設・風俗店等の営業について特に規制は設けておりません。地元の合意形成が前提となりますが、今後必要に応じて、地区計画等による規制・誘導も視野に入れて検討してまいりたいと考えております。 なお、悪質な客引きにつきましては、関係部署において警察と連携し、取り締まりをお願いしていると伺っております。	無
38		商業施設については、駅から直結、または、雨天でも駅から傘をささずに移動可能	いただいたご意見を参考にしながら、個別事業の計画を進	無

		にして、全天候で楽しめる施設を希望する。	めてまいります。	
39	P10 都心居住 ゾーン	旧水戸街道の整備の事業内容が、前半は行政主体の事業であり、後半は共同化をいっており民間主体である。分けたほうが12ページとの整合性が保てる。	基本構想は多様な主体が共通の将来ビジョンに基づくまちづくりを推進することを目的としておりますので、事業主体にかかわらず、まとめて考えるべきものについてはまとめて記載しております。	無
40		マンションのデザインも洗練されたものになるよう考慮して欲しい。 中高層のマンションを想定しているようであるが、公開空地をとることができず、太陽光もさえぎられるため、可能な限り超高層規格で計画して明るい居住ゾーンになるよう考慮して欲しい。 地域の一体的再開発で、街路拡幅、統廃合を最重要に計画しないと、スラムに陥るリスクが高まり、松戸の未来は暗いものになると思う。	地区計画等による規制・誘導について、いただいたご意見を参考に検討を進めてまいります。	無
41	P11 シンボル 軸	松戸駅の伊勢丹通り口に、今年度中にエレベーターを作って欲しい。	デッキのバリアフリー化は重要であると認識しており、来年度より順次着手してまいります。大規模な工事になるため、完成までには時間を要します。ご不便をおかけしますがご理解をお願いいたします。	無
42		駅前が明るくなるよう、デッキを最小限にし、陽光があたるようにしてほしい。また、併せて植樹なども行い清潔なイメージにして欲しい。	デッキは歩行者の回遊性を高めるために必要であると考えておりますので、ご理解のほどよろしくお願ひします。また、植樹については基本構想にも記載をしております。	無
43		シンボル軸の都心居住ゾーンと重なる部分は人が行きにくい。このあたりは昔から住み人が多く、坂川沿いを佐原水郷のようにするのに住民理解が得られるか。また、商業・業務ゾーンと重なるところは風情あ	坂川は伊勢丹の裏のあたりから松戸神社にかけての風情のある箇所を中心に良好な景観のある散策路を形成したいと考えておりますが、シンボル	無

		<p>る木造店舗が残るが活気がない。経営が難しいなら、新しく厳選した店舗募集をして欲しい。いずれにしても、シンボル軸の西側は寂しいばかりで行きたい場所になっていない。</p>	<p>軸のあたりについても地元の合意が形成できれば、良好な景観形成を促進したいと考えております。活気を高めることについては、商業・業務ゾーンで記載をしております。</p>	
44		<p>シンボル軸は坂側までが限界だと感じるが、松戸の名産やアニメなどの文化、川越のような魅力ある店舗の連続があれば行きたいと感じる。</p> <p>また、官舎跡地を有効活用し、幼、小、中、大と若い世代が育ち大人になっても終の住処と思えるように、図書館、子供読書支援センター、新松戸の青年会館の一体化した施設を整備して欲しい。</p>	<p>坂川より先は、基本構想において歩道のバリアフリー化などを記載しております。また、地元の合意が前提となりますが地区計画等による規制・誘導により連続性のある街並みの促進を検討してまいります。(官舎跡地については、No.31～33の回答を参照)</p>	無
45	P12 水・歴史資源	<p>水陸両用バスは一過性のもので無駄だと思う。</p>	<p>見た目にインパクトの強い水陸両用バスを運行することで松戸の資源である江戸川を活かし、さらに矢切の渡し周辺に観光拠点を整備し、観光をアピールしたいと考えております。なお、水陸両用バスは民間事業者による運行を想定しております。</p>	無
46		<p>水陸両用バスは魅力がない。それより、タウンバスサイズの観光バスにより点在する戸定邸、矢切などの観光地を結んでほしい。(高齢者の足にもなる。)</p>	<p>観光地の周遊を含めた、コミュニティバスやデマンド交通については、関係部署で研究しております。 (水陸両用バスはNo.45の回答参照)</p>	無
47		<p>歴史的建造物という「点」を重視しているように感じるが、歴史的建造物単体ではなく、それを含んだ地区、すなわち「面」を重視して欲しい。松戸が発展したのは、水戸街道の宿場町であったこと、江戸川の河岸があったことに由来するが、こうした発展の核を大切にし、まちづくりに「面」として活かして欲しい。</p>	<p>「点」としての歴史的建造物の有効活用はもとより、「面」としても、地元の合意が前提となりますが、地区計画等による規制・誘導により連続性のある街並みの促進を検討してまいります。</p>	無

48	P 13 短・中期的 取り組み	オレンジは「地元・民間・行政が連携して進めるもの」だが、主体が見えないので「行政は支援」とすべきでは。例えば、矢切観光拠点の主体が見えない。	ここでは、行政は支援だけでなく、民間活力を活用しながら行政が連携して整備するなど様々な連携方法がございます。矢切観光拠点を含め、適切な役割分担については、個別事業計画の中で検討するとともに、まちづくり委員会で調査・審議してまいります。	無
49	P 14 松戸駅周辺まちづくり委員会	外部委員やパブリックコメントによりアイデアを頂戴するのではなく、そもそも職員が絶えずまちづくりを考えていればすでに良い街になっていたのでは。	まちづくりには、利害関係を持つ多様な主体や専門的な知見を持つ学識、広く影響を受ける市民の皆様の意見が必要であると考えております。職員も努力を続けてまいりますので、ご理解をお願いいたします。	無
50	全体	基本構想に示した事業について、どの程度の事業規模を見越しているのかが示されていない。今後十年間(本計画の期間)に、行政がどの程度の財政出動をし、民間にどの程度の投資を求めているかを示さないと実現性が判断できない。(実現性かつ実効性のある戦略的な方針か否かが判断できない)	基本構想はまちづくりの指針であるため、財政的な裏付けはございません。今後、個別事業の計画を作成する中で、事業費の算出や財源の裏付け、効果についても検証し、まちづくり委員会で審議しながら進めてまいりたいと考えております。	無
51		施策の粒度が違いすぎるので、実現性の判断ができない。例えば、多機能拠点は粒度が荒く、施設が全く見えず、公共施設再編との連携も不明確である。一方、放置自転車対策は粒度が細かすぎる。(松戸駅再整備に関係なく行うべき事業であり、基本構想に入れるべき戦略的な方針ではない。)	基本構想はまちづくりの指針であり、今後の施策に繋がる大きな方針を立てております。また、基本構想は総合的な計画であるため、松戸駅改良に係わらず、まちづくりのために必要な施策を記述しております。	無